

「新学習指導要領対応 中学校外国語教材 Bridge」の活用方法

1 はじめに

新学習指導要領では、現行の学習指導要領では示されていない6つの新しい文法事項が加えられています。

これにより、次年度から使用される新教科書では、各学年で学習する内容が再構成され、各学年における言語材料の配当が変更されています。そのため、令和2年度の中学1年生と2年生が、移行措置が必要な言語材料を確実に学び、新教科書を用いた学習にスムーズに移行できるように手立てを講じる必要があります。

〈移行措置を適切に行わないと…〉

【例】「There is[are] ～.」が2年生で未習状態になってしまう



このような未習状態に陥らないよう、文部科学省から令和2年度の中学1年生と2年生を対象に「新学習指導要領対応 中学校外国語教材 Bridge（以下、Bridge）」が配布されています。本コンテンツは、その活用方法を示しています。今年度、Bridgeを用いて移行措置を行う際に、ぜひ、御活用ください。

本コンテンツを使用する上での注意点

- (注1) 本コンテンツは県内で広く使用されている教科書『NEW HORIZON English Course』【東京書籍】（以下、NEW HORIZON）と『SUNSHINE ENGLISH COURSE』【開隆堂】（以下、SUNSHINE）に特化したものとなっています。加えて、移行措置が必要な言語材料の全てを網羅しているものではありません。あらかじめご了承ください。
- (注2) 本コンテンツにおける「言語材料」とは、新学習指導要領における「英語の特徴やきまりに関する事項」を示しています。
- (注3) 本コンテンツにおける「文法事項」とは、新学習指導要領における「文、文構造及び文法事項」を示しています。
- (注4) 本コンテンツにおける「6つの新しい文法事項」とは、今回の改訂で指導事項に追加された文法事項を示しています。

2 新学習指導要領で新しく追加された文法事項

新学習指導要領では、中学校の学習内容と小学校及び高等学校における学習内容との接続の観点で踏まえ、内容の改善・充実が図られています。その中で、表現をより適切でより豊かにするなどの目的で、6つの新しい文法事項が追加されています。新しく追加された文法事項と例文を以下に示します（表1）。

【表1 新しく追加された文法事項と例文】

	新しく追加された文法事項	例文
(1)	感嘆文のうち基本的なもの	・How interesting! ・What a big tree!
(2)	[主語＋動詞＋間接目的語＋直接目的語]のうち、 主語＋動詞＋間接目的語＋ {thatで始まる節 whatなどで始まる節}	・I'll show you that this is not true. ・My brother told me that he would come to the party. ・Can I tell her where you live? ・Please teach me what I have to do now.

(3)	[主語+動詞+目的語+補語]のうち、 主語+動詞+目的語+原形不定詞	<ul style="list-style-type: none"> • Will you let me try? • I helped my father wash the car.
(4)	主語+ be動詞+形容詞+ that で始まる節	<ul style="list-style-type: none"> • I'm glad that you like it. • I'm sure that many people will live with a robot in the future.
(5)	現在完了進行形	<ul style="list-style-type: none"> • It has been raining since this morning. • Masashi and Yukiko have been playing soccer for two hours.
(6)	仮定法のうち基本的なもの	<ul style="list-style-type: none"> • If I were you, I would ask my best friend to help me. • If you had five million yen, what would you do? • I wish I knew my cat's feelings. She is always crying in the house. • I wish my mother didn't have too many things to do today. I want to go shopping with her to buy her birthday present.

中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 外国語編 pp. 36-51 を基に作成

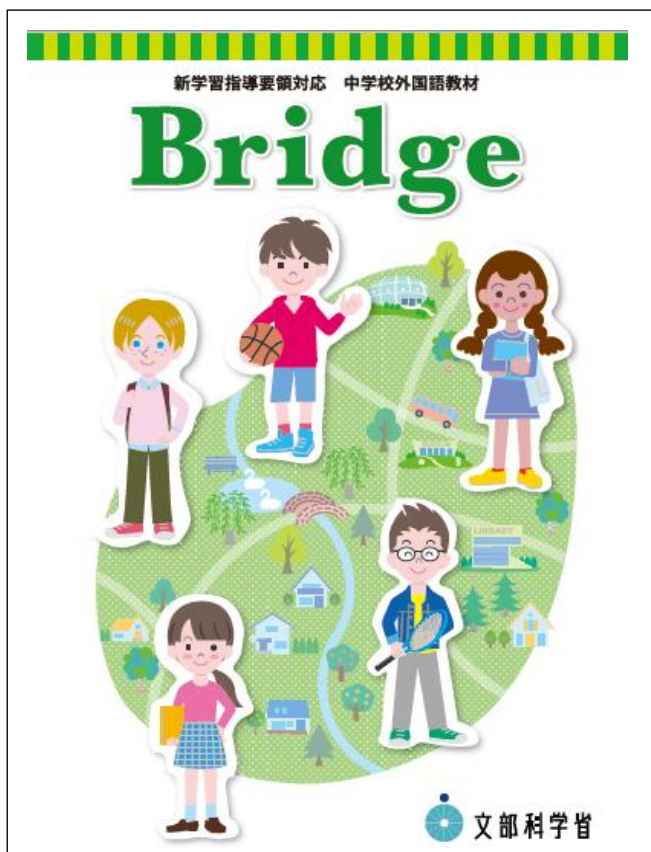
3 Bridge を活用した新しく追加された文法事項の取扱い

Bridge(資料 1)では、新学習指導要領において新しく追加された文法事項が取り扱われています。英語で読んだり書いたり話したりするコミュニケーションを通して、該当する文法事項を理解することができる構成となっています。

ただし、新しく追加された文法事項の多くは、新教科書では 3 年生で取り扱われているので、移行措置の必要がないものがほとんどです。使用する新教科書が決まり次第、各学年で学習する内容を確認した上で、必要となる部分を計画的に活用するとよいでしょう。

(1) Bridge の内容

Bridge の Contents〈目次〉及び新しく追加された文法事項と取り扱っている Contents〈目次〉を次頁に示します(資料 2, 表 2)。



【資料 1 Bridge の表紙】

Bridge

Contents 〈目次〉

1	What a Wonderful Memory!	4
	How fast!	
2	A Birthday Present	6
	What a good idea!	
3	Join us!	8
	We can help you enjoy tennis!	
4	What a Great Movie!	10
	What a surprising ending!	
5	Online English Lesson	12
	I'm sure that you'll enjoy my lessons.	
6	American Schools	14
	Let me tell you about my school.	
7	If you had \$10,000...	16
	If I had \$10,000 for the party, I would have a famous chef...	
8	http://www.magicmedicine	18
	The medicine lets you talk with animals.	
9	Meeting Friends	20
	I have been waiting for 20 minutes.	

10	Can you help me?	22
	I've been doing my homework since this morning.	
11	A Time Machine	24
	If we had a time machine, would you use it?	
12	What can we do for the Environment?	26
	If people didn't try to be eco-friendly, what would happen?	
13	Super Robots	28
	Everyone has been dreaming of super robots.	
14	Strange Events around the World	30
	Children will be happy that it's a funny race.	
15	Headphones & Hearing Loss	32
	This will help you protect your ears.	
16	Which Way Is Best?	34
	If I were you, I would ride the bus.	
17	Help the Store!	36
	She asked her classmates what kind of store they want to go to.	
18	Cash or Cashless?	38
	Small shops and restaurants often tell them that only cash is accepted.	
	Words	40
	Sample Answers	48

【資料2 Bridge の Contents 〈目次〉】

【表2 新しく追加された文法事項と取り扱っている Contents 〈目次〉】

	新しく追加された文法事項	取り扱っているContents〈目次〉
(1)	感嘆文のうち基本的なもの	1 What a Wonderful Memory! 2 A Birthday Present 4 What a Great Movie!
(2)	[主語+動詞+間接目的語+直接目的語]のうち、 主語+動詞+間接目的語+ <div style="display: inline-block; vertical-align: middle;"> <div style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">{</div> <div style="display: inline-block; vertical-align: middle;"> thatで始まる節 whatなどで始まる節 </div> </div>	17 Help the Store! 18 Cash or Cashless?
(3)	[主語+動詞+目的語+補語]のうち、 主語+動詞+目的語+原形不定詞	3 Join us! 6 American Schools 8 http://www.magicmedicine 15 Headphones & Hearing Loss
(4)	主語+ be動詞+形容詞+ that で始まる節	5 Online English Lesson 14 Strange Events around the World
(5)	現在完了進行形	9 Meeting Friends 10 Can you help me? 13 Super Robots
(6)	仮定法のうち基本的なもの	7 If you had \$10,000... 11 A Time Machine 12 What can we do for the Environment? 16 Which Way is Best?

(2) Bridge の使用方法

Bridge の使用方法については、以下のような方法が提案されています。

- 単元の後半で、教科書とは別の初見の読み物教材として使用する。
- 「読むこと」に特化した単元の終末に使用する。
- 「帯活動」の教材として使用する。
- 家庭学習において使用する。

上記以外にも、多様な使用方法が考えられます。生徒の実態や題材内容などを基に、効果的な使用方法を考えてみましょう。

(3) Bridge の使用時期

各学校において、新しく追加された文法事項をどの時期に取り扱うか、指導計画に意図的に組み込むことが大切です。

○ 現行教科書において、新しく追加された文法事項の取扱いに適した単元を示します。

新学習指導要領では、文法事項の指導において、英語の特質を理解させるために、関連のある文法事項はまとめて整理したり、当該文法事項の規則性や構造について気付きを促したりすることが必要であると示されています。したがって、新しく追加された文法事項を指導計画に組み込む際には、共通した特徴をもつ表現を取り扱っている単元の中で、学習する機会を設定するとよいでしょう。新しく追加された文法事項と取扱いに適した単元を以下に示します（表3）。

【表3 新しく追加された文法事項と取扱いに適した単元】

	新しく追加された文法事項	取扱いに適した単元
(1)	感嘆文のうち基本的なもの	・感嘆文が出てくる単元 ※感嘆文は、現行教科書においても一般的な言語材料として既に取り扱われている。
(2)	[主語+動詞+間接目的語+直接目的語]のうち、 主語+動詞+間接目的語+ <div style="display: inline-block; vertical-align: middle;"> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">thatで始まる節</div> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">whatなどで始まる節</div> </div>	・[主語+動詞+間接目的語+直接目的語【名詞、代名詞、how(など) to 不定詞】]が出てくる単元
(3)	[主語+動詞+目的語+補語]のうち、 主語+動詞+目的語+原形不定詞	・[主語+動詞+目的語+補語【名詞、形容詞】]が出てくる単元
(4)	主語+ be動詞+形容詞+ that で始まる節	・[主語+ be動詞+形容詞+ that +で始まる節]の構文が出てくる単元 ※この文構造は、現行教科書においても既に取り扱われている。
(5)	現在完了進行形	・現在完了形(継続)が出てくる単元
(6)	仮定法のうち基本的なもの	・接続詞ifが出てくる単元

○ 取扱いに適した単元において、新しく追加された文法事項と関連のある表現を示します。

前頁表3に示したように、それぞれの現行教科書において、取扱いに適した単元があります。取扱いに適した単元の中で、新しく追加された文法事項と関連のある表現を以下に示します（表4、表5）。なお、今年度中に移行措置が必要な文法事項と関連のある表現に下線を引いています。

【表4 新しく追加された文法事項と関連のある表現（NEW HORIZON）】

	新しく追加された文法事項	関連のある表現
(1)	感嘆文のうち基本的なもの	1年:Unit10(p.110) <u>“What a surprise!”</u>
(2)	[主語+動詞+間接目的語+直接目的語]のうち、 主語+動詞+間接目的語+ <div style="display: inline-block; vertical-align: middle;"> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">thatで始まる節</div> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">whatなどで始まる節</div> </div>	2年:Unit2(p.20) <u>“Show me your passport, please.”</u> 3年:Unit4(p.59) “I know how to protect myself.” 3年:Unit4(p.65) “I want you to pass on the memories.” 3年:Unit5(p.73) “I know what you mean.”
(3)	[主語+動詞+目的語+補語]のうち、 主語+動詞+目的語+原形不定詞	2年:Unit2(p.23) <u>“People call it Big Ben.”</u> 3年:Unit1(p.13) “This idea makes me happy.”
(4)	主語+ be動詞+形容詞+ that で始まる節	2年:Unit5(p.71) <u>“I think that baseball is interesting.”</u> 3年:Unit3(p.41) “I am surprised to hear that.” 3年:Let’s Read2(p.100) “Rudolf was sure that an adventure was waiting for him.”
(5)	現在完了進行形	3年:Unit2(p.23) “I have lived in Japan for a month.” 3年:Unit2(p.27) “The Amazon has been important for many years.”
(6)	仮定法のうち基本的なもの	2年:Unit5(p.69) <u>“If you are interested, we will send you a catalog.”</u>

【表5 新しく追加された文法事項と関連のある表現（SUNSHINE）】

	新しく追加された文法事項	関連のある表現
(1)	感嘆文のうち基本的なもの	2年:My Project6(p.107) <u>“How boring!”</u> 3年:PROGRAM3(p.29) “How lucky!” 3年 PROGRAM 3(p.25) “What a waste!”
(2)	[主語+動詞+間接目的語+直接目的語]のうち、 主語+動詞+間接目的語+ <div style="display: inline-block; vertical-align: middle;"> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">thatで始まる節</div> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">whatなどで始まる節</div> </div>	2年:PROGRAM 7(p.66) <u>“I’ll give you a present tomorrow.”</u> 3年:PROGRAM 3(p.26) “I don’t know how to play it.” 3年:PROGRAM 3(p.28) “Could you ask him to call me back?” 3年:PROGRAM 5(p.50) “But I don’t remember when it starts.”
(3)	[主語+動詞+目的語+補語]のうち、 主語+動詞+目的語+原形不定詞	3年 PROGRAM 5(p.46) “We usually call her Alex.” 3年 PROGRAM 5(p.48) “His songs always make me happy.”
(4)	主語+ be動詞+形容詞+ that で始まる節	2年:POWER-UP6(p.68) <u>“I’m glad I could help.”</u> 3年:POWER-UP3(p.44) “I’m sure you’ll be the city champion next week.”
(5)	現在完了進行形	3年:PROGRAM2(p.16) “We’ve been friends since last year.” “I’ve been in the chorus for two years.”
(6)	仮定法のうち基本的なもの	2年:Program5(p.48) <u>“If it’s sunny, I’ll go cycling with my brother.”</u>

(4) 年間指導計画への位置付け

次年度から使用する新教科書が決まり次第、各学年で学習する内容を確認した上で、新しく追加された文法事項を年間指導計画に位置付けましょう。その際、p. 4, 5 に示す表 3, 表 4, 表 5 を参考にしましょう。年間指導計画への位置付けの例を以下に示します（資料 3）。

【例】「感嘆文のうち基本的なもの」への移行措置として、Bridge「**1** What a Wonderful Memory!」を NEW HORIZON English Course I の年間指導計画に位置付ける

現行教科書 NEW HORIZON を使用している学校は、「感嘆文のうち基本的なもの」の移行措置を行う必要があります。p. 4, 5 に示す表 3 及び表 4 を参考にすると、NEW HORIZON English Course I の Unit10 part 3 において、「What a surprise!」（p. 110）という表現を学習する際に移行措置を行うことが適切です。そこで、感嘆文を取り扱っている Bridge「**1** What a Wonderful Memory!」を Unit10 の終末に位置付け、感嘆文を用いて感想を述べる活動を設定することにしました。

月	単元名 ○題材・内容	時数		各時の目標例	◆言語材料、表現 (◇は主な復習事項) ●場面 ★話題、テーマ ▼働き	評価の観点の例※				評価規準 (ア 関心・意欲・態度/イ 表現/ウ 理解/エ 知識・理解)
		単元	パート			ア 関心・意欲・態度	イ 表現 話す(S) 書く(W)	ウ 理解 聞く(L) 読む(R)	エ 知識・理解	
1	Unit 10 あこがれのボストン ○異文化理解、伝統・文化：映は冬休みに家族とボストンへ旅行に出かけました。ペーカー先生の友人の案内で、観光名所をめぐる。	2	2	できるかどうかをたずねたり、答えたりすることができる。	◆can の文(疑問文と応答) ●観光地で ★ボストンコモン ▼質問する、答える ▼提案する、説明する	○	◎	○	○	ア. できることやできないことについて、積極的にたずねようとしている。 イ. できることやできないことについてたずねることができる。(S) ウ. 対話を聞いて、できることやできないことを聞き取ることができる。(L) エ. can を用いた疑問文とその答え方の形・意味・用法に関する知識を身につけている。
			3	いつできるかをたずねたり、答えたりすることができる。	◆When ...? と応答 ●観光地で ★ボストン美術館、浮世絵、富士山 ▼礼を言う ▼質問する、答える ▼説明する、感想を述べる	○	◎	○	○	ア. いつできるかを、積極的にたずねようとしている。 イ. いつできるかをたずねることができる。(S) ウ. 対話を聞いて、いつできるかを聞き取ることができる。(L) エ. When can ...? の文とその答え方の形・意味・用法に関する知識を身につけている。
					感嘆文を用いて、感想を述べたり書いたりすることができる。	◆What a ...! How ...! を用いた感嘆文 ●オリンピック会場 ★オリンピック ▼感想を述べる		◎	○	○

平成 28 年度用 New Horizon 年間指導計画資料を基に作成

【資料 3 現行教科書 NEW HORIZON English Course I の年間指導計画への位置付け】

4 終わりに

令和 2 年度の中学 1 年生と 2 年生が新しく追加された内容を学習できるよう、文部科学省から Bridge が配布されています。その使用方法や使用時期は、各学校が決めることとなっています。令和 2 年度の中学 1 年生と 2 年生が、移行措置が必要な文法事項を確実に学び、新教科書を用いた学習にスムーズに移行できるように、Bridge を効果的に活用しましょう。

《参考文献》

- ・ 文部科学省 『中学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説 外国語編』
- ・ 文部科学省 『新学習指導要領対応 中学校外国語教材 Bridge』
https://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1414459_00002.htm
- ・ 大分県教育委員会 『「中学校外国語補助教材 Bridge」の活用について』
<https://www.pref.oita.jp/site/gakkokyoiku/bridge.html>
- ・ 東書 E ネット 『平成 28 年度用 NEW HORIZON 年間指導計画作成資料』
<https://ten.tokyo-shoseki.co.jp/text/chu/keikaku/eigo/index.htm>
- ・ 開隆堂出版株式会社 『年間指導計画・評価規準作成資料』
http://www.kairyudo.co.jp/contents/02_chu/eigo/h28/nenkei.htm
『2018～2020 年度（平成 30～32 年度）中学校英語 移行措置資料』
http://www.kairyudo.co.jp/contents/02_chu/eigo/h28/h30-32ikosochi_chuei.pdf
- ・ 山田 誠志 「新学習指導要領対応 中学校英語教材 Bridge について」『英語教育』
2020 年 5 月号